

## 第3期・第1回豊和村づくり協議会報告

2020年6月21日  
豊和コミュニティーセンター

### <参加団体（者）>

SOSA プロジェクト、北総東部土地改良区飯塚分区、飯塚区長、大寺区長、内山区長、豊葉会、飯塚開畑環境保全会、豊和小 PTA、豊和保育所保護者会、豊和地区社会協議会、豊和地区保健推進員、匝瑳ソーラーシェアリング、Three little birds、オブ参加者7名

### <報告事項>

#### 1 書面決議による第3回総会の内容

○村づくり基金の収支報告が承認（書面決議／承認14、不承認0）されたことが報告、確認された。

#### 2 開畑地区の不法投棄防止用の監視カメラの設置

- 設置について豊和地域内に周知終了。特に異論は出されていない。
- 今月中を目途に設置予定。10万円程度の見込みで、基金から支出。
- 設置後の運用、管理は飯塚開畑環境保全会が行う。
- 画像は、一定期間（数週間）で上書きされるタイプで、不法投棄が発見された場合、その捜査のためにのみ使用し、それ以外には使用しない。

#### 3 ソーラーシェアリングの非常電源としての活用についての市との協議状況

- 内容については市との協議で概ね詰まっている。
- 市の要望を踏まえ、市・協議会・発電事業者の三者協定ではなく、市と協議会の二者協定の方向で進めて行く。

#### 4 基金の状況について

- 前年度の繰越金約100万円、今年度の収入予定は約380万円の見込み。

### <協議事項>

#### 1 新規参加団体の承認

- 「豊和保育所保護者会」「豊和地区保健推進員」の2団体の参加が承認された。

2 役員について以下のとおり選出された。

代 表：高坂勝（SOSA プロジェクト）

副代表：栖関実（北総東部土地改良区飯塚分区） 伊藤幸敏（飯塚区長）

向後康宏（豊葉会）

会計監査：八木敏夫（大寺区長）

事務局：椿茂雄（飯塚開畑環境保全会／瑛ソーラーシェアリング合同会社）

3 会報の名称の決定と名称採用者の確認

① 会報の名称を何にするか。投票結果は下記の通り。

「とよわおひさまだより」 9 票

「希望の光（ほたる）」 3 票

「豊和物語」 2 票

**\* 「とよわ」は漢字の方が良いとの意見があり、「豊とおひさまだより」に決定。**

4 「ホテルを愛でる会」への協賛について

○3年前から支援しており、今年も協賛依頼があったので協賛し、8万円を助成することになった。

5 その他（当面の）地域からの要望、活動等の支援について

○地域で踊られている盆踊りを踊れる人（教えられる人）が高齢化し少なくなってきているので、伝えていくために映像化したいとの意見があり、進めて行くこととなった。

○次回の協議会までに地域の要望や支援をすべき活動などの把握に努めていくこととした。

○例年行っている「ソーラシェア収穫祭」は、実行委員会からコロナ感染症が見通せない今年では中止するとの意向が報告された。

6 村づくり基金の新たな活用について・・・別紙を含めて予備討論を行った。

○村づくり基金は、開畑地区に設置されている「ソーラーシェアリング」（営農型太陽光発電）の売電収入から出されているもので、「飯塚開畑地区の農地の保全や農業支援、および豊和地区の環境保全と活性化、将来を担う子供たちの育成、地域のための活動への支援」という基金設立の趣旨に反しない限りは自由に使えるもので、その役割を担っているのが豊和村づくり協議会です。これまで、小学校や保育所等への物品の寄付、「いきいき百歳体操」「ソーラシェア収穫祭」や「ホテルを愛でる会」などへの協賛・支援などを行ってきました。基金も現時点で年間400万円に近づき、計画では近い将来500万円を超える予定です。この基金は毎年20年間近くにわたって拠出されるものであり、将来に向かって有効な使い方を検討していく時期に来ていると思いま

す。みなさんの忌憚のないご意見をお願いします。

\* 「荒れた竹林の伐採や調整の事業化」や「移住者促進・支援」「空き家マッチング」についていろいろ意見が出た。引き続き議論を進め、実現可能なものから具体化していくこととなった。